

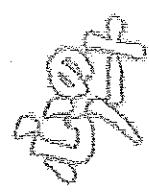


あなたの心と

語り合うかけ橋

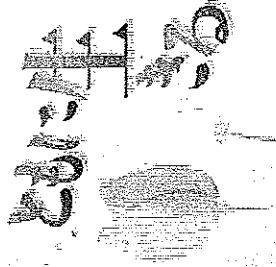
あなたの心をどうかかせますか

心のノートを開いてみよう ● 4~5  
これがいまのわたし ● 6~7  
自分らしく心を育てかがやかせよう ● 8~9



自分の一日は自分でつくる ● 12~15  
夢に届くまでのステップがある ● 16~19  
自由ってなんだろう ● 20~23  
まじめであることはわたしのほこり ● 24~27  
好奇心が出発点 ● 28~31  
自分を見つけみがきをかけよう ● 32~35  
いつまでも甘えていたいけど… ● 36~37

心と心をつなぐネットワーク ● 40~43  
あなたの心にあるそのあたなかき ● 44~47  
友だちっていいよね ● 48~51  
よりうこと、わかり合うことから ● 52~55  
「ありがとう」って言えますか? ● 56~59  
がんばれよと 力強く… ● 60~61



いま生きているわたしを感じよう ● 64~67  
生きているんだね自然とともに ● 68~71  
大いなるものの息づかいをこう ● 72~75  
かけがえのないのち ● 76~77



ぐるりとまわりを見渡せば… ● 80~83  
どうしてゆがめてしまうのか? ● 84~87  
いきいきしている自分がやいている仲間 ● 88~91

働くってどういうこと? ● 92~95  
わたしの原点はここにある ● 96~99  
学び合う中で ● 100~103  
見つめようわたしたしのふるさと そしてこの国 ● 104~107  
心は世界を結ぶ ● 108~111

「こんなことはしません!」これがわたしの思いです ● 112~113  
集団の一員という自覚 ● 114~115

心にひびく薬草 ● 116~117  
自分を見つめはぐくみともに生きる ● 118~119  
心豊かに生きしていくために… ● 120~121  
道徳の時間で気づいたこと… ● 122~123  
わたしのページ ● 124~125  
さあ中学生 そして未来へ ● 126~127  
道はつづく ● 128



あなたがいま所属している集団はどれだけありますか？  
家族、学級、学校、スポーツクラブ、趣味のクラブ、  
学級の係、学校の委員会…

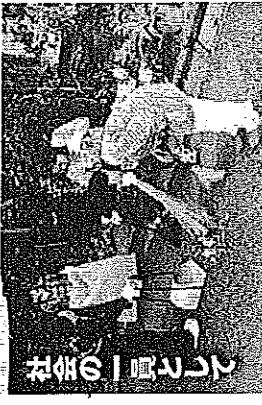
きっと、いくつもの集団にかかわっていることに驚くでしょう。  
でも実は、それだけではありません。  
あなたは、いま住んでいる社会の一員であり、  
この国の一員でもあります、さらには、  
地球にくらす、すべての人類、地球上の  
一員でもあるのです。

これからあなたがかかる  
集団は、さらに多くなり  
広くなつていってじょう。  
だれかが支えてくれる  
という、ぶらさがつた  
気持ちではなく  
自分がから積極的に  
かかわることの  
大切さを  
考えてみましょう。

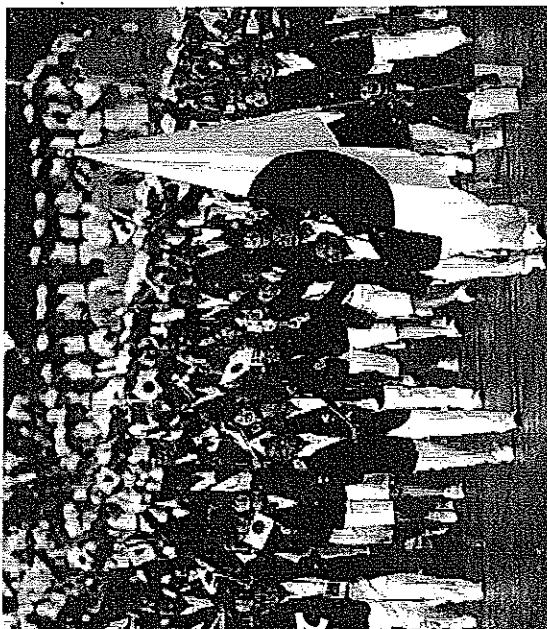
少 集団の一員として



学校の「員」として



国家の「員」として



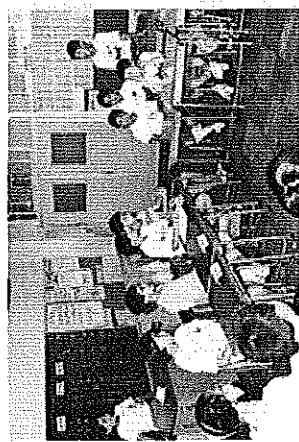
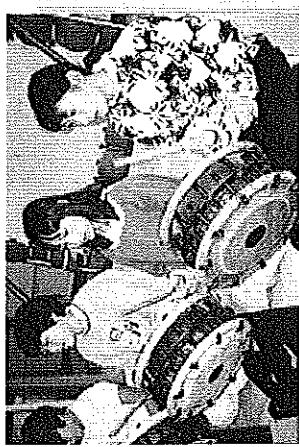
この国の一員として

地球の一員として

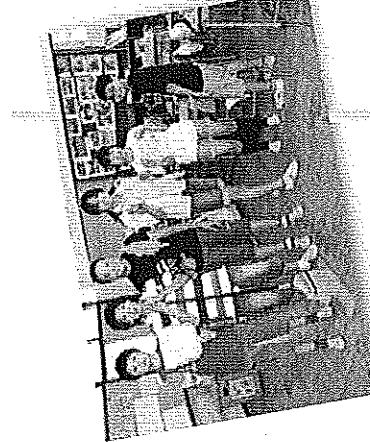
集団の一員として  
この国の一員として  
地球の一員として

## みんなが光っている

いろいろな集団の中にいるわたし。  
たくさんの人とかかわりながら  
支え合ってすごす毎日。  
たったひとりのわたしだだけれど  
仲間の中でききることがたくさんある。  
やらないければならないことがある。  
そこにいてよかったです。  
そんな集団をつくっていくために。  
わたしが



## みんなが光っている



△わたしが参加している集団とその役割

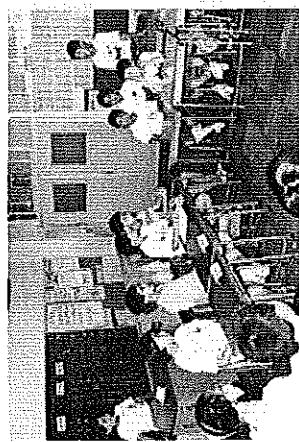
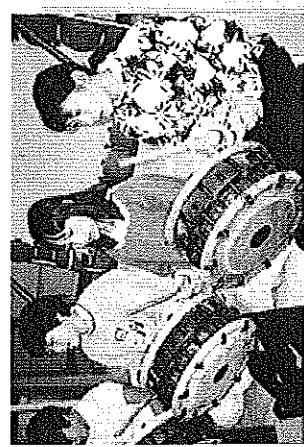
集団名	役割
-----	----

集団名	役割
-----	----

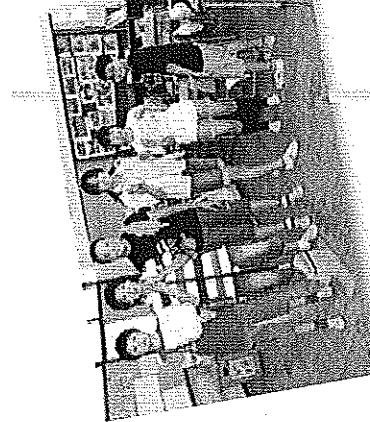
集団名	役割
-----	----

自分がかかる集団もいろいろ。  
そこにはいろいろな集団。  
進んで参加している集団。  
どちらもいるだけじゃ、つまらない。  
積極的に役割や責任を果たし  
そこにいる楽しさ、喜びを実感しよう。

## かかわり合いの中でわたしが、

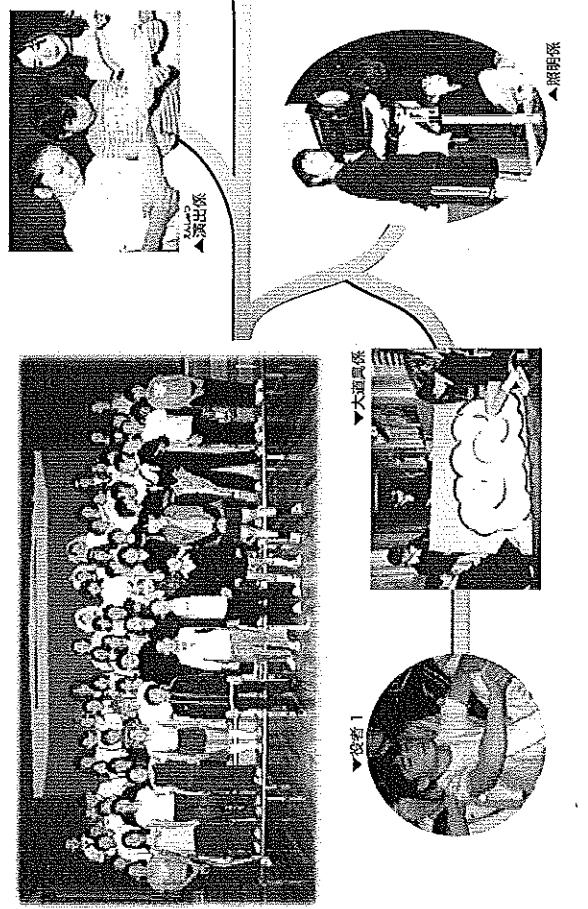


## みんなが光っている

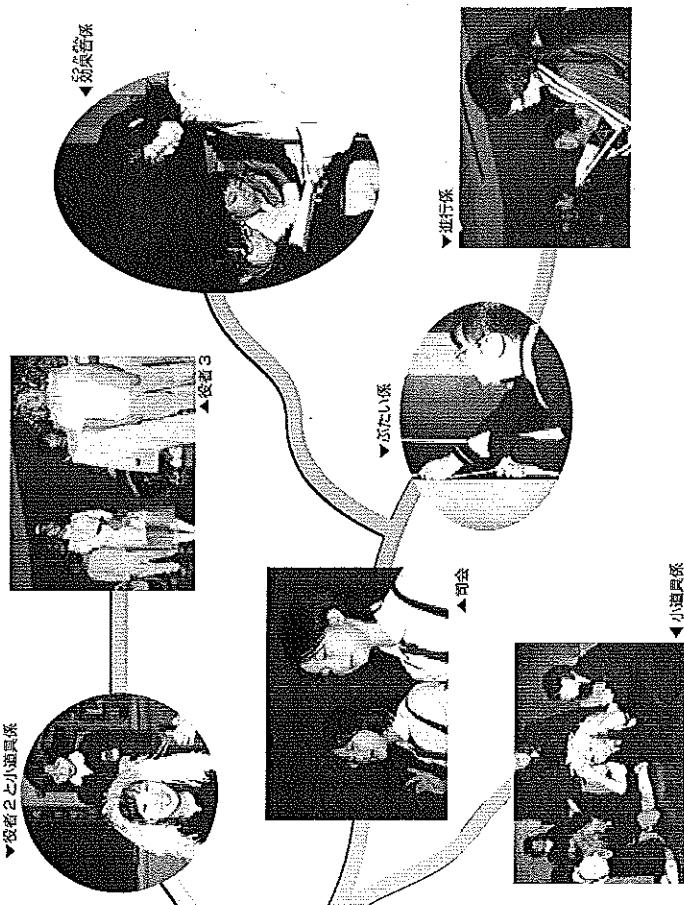


## どんな役割でも、その役割がなければ

盛り立たない。一人一人が主役なんだ。



たとえば学芸会の演劇で、演じる人と同じようにかがやいているのは、ぶたいに向けて照明を当てるAさんであり、音楽をタイミングよく流すBさん。**だから、だれかひとりがいなければ、この劇は盛り立たないのであるから。**



## たずねてみよう「役割と責任」

家族は、家では家の顔をもっているけれど、家の外ではきっとちから顔がある。先生だって、家に帰れば、お父さんやお母さんの顔になるかもしれない。いろいろな人に聞いてみよう。そ

の人人が属する集団、役割、そして責任。

所属する集団名	さん
役割・責任	○入ったこと
役割・責任	○入ったこと

## 「あなたがいるからすばらしい！」

そう感じてもらえる場面を自分からどんどんつくっていこう。  
それがまた、あなたに喜びや成長をもたらし、自信となつて返ってくる。  
少しつまも参加している集団で、運んで役割を果たしているものにどんなものがあるだろう。

△クラスや学校生活をよりよいものにするために、あなたにできることはどんなことだろう。

さあ、いろいろな集団の中でかがやく自分になろう。